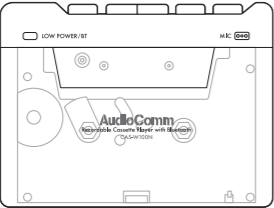


## 取扱説明書

### カセットプレーヤー AIR W100

型番：CAS-W100N  
品番：03-5563



カセットプレーヤー AIR W100の背面には、型番と品番が記載されています。

このたびは、AudioComm®カセットプレーヤー AIR W100をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

<b>【使い始める前に】</b>	本製品には以下のものが含まれています。お使いの前に、必ず内容をお確かめください。
<ul style="list-style-type: none"><li>●カセットプレーヤー(本機)</li> <li>●専用USBコード</li> <li>●ステレオイヤホン</li> <li>●φ3.5mmステレオミニプラグコード</li> <li>●保証書</li> <li>●取扱説明書(本書)</li></ul>	

<b>【保証書について】</b>	保証書は、ご購入の際に同梱されています。大切に保管してください。
------------------	----------------------------------

<b>【保証期間】</b>	ご購入日より1年間です。
---------------	--------------

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

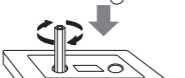
カセットテープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。

<b>【テープの扱い】</b>	テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
-----------------	-------------------------------------------

<b>【テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因】</b>	テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
-------------------------------	-------------------------------------------

<b>【テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因】</b>	テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
-------------------------------	-------------------------------------------

- ノーマルテープの場合でも、C-60を超える長時間テープは非常に薄く、トラブルの原因となりますので使わないでください。
- テープのたるみを確かめ、たるんでいる場合は右図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- 大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。
- 使い終わったら必ず本機からカセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



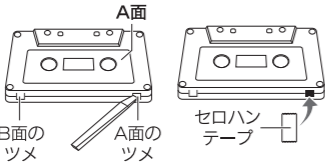
- ノーマルテープの場合でも、C-60を超える長時間テープは非常に薄く、トラブルの原因となりますので使わないでください。

- テープのたるみを確かめ、たるんでいる場合は右図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- 大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。
- 使い終わったら必ず本機からカセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。

- 再生中に早送り/巻戻しをするときや、早送り/巻戻しから再生に移るときなど、テープが動いているときは、必ず停止ボタンでいったん動作を止めてから、次の操作をしてください。
- テープ動作中は絶対にカセットドアを開けないでください。

<b>【テープの扱い】</b>	テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
-----------------	-------------------------------------------

- 保存しておきたいテープは、カセットのうしろ側にある誤消去防止用のツメを折っておくと、間違っって大切な録音を消去せずに済みます。
- 再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



<b>【テープの扱い】</b>	テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
-----------------	-------------------------------------------

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

<b>【テープの扱い】</b>	テープの巻きつきや切断、故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
-----------------	-------------------------------------------

電気製品は、間違っった使いかたをすると、火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。

<b>【警告】</b>	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
-------------	--------------------------------------------------

- 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは、装着部位から22cm以上離す**
  - ・電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 航空機内や医療機器の近くで使わない**
  - ・電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びUSBコードに触れない**
  - ・感電するおそれがあります。
- 分解、修理、改造しない**
  - ・火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がるなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止し、乾電池を取り外す。USBコード使用時はUSB端子を抜く**
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する**
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。**
  - 万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
    - ・乾電池は幼児の手が届かないところに保管してください。
- 浴室やシャワー室、台所など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない**
  - ・火災や感電のおそれがあります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない**
  - ・交通事故の原因となります。
  - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 火の中に入れない**
  - ・誤って火中に入れると、乾電池が破裂、発火するおそれがあります。
- 本機やUSBコードの上に重いものをせない。毛布や敷物などで覆わない**
  - ・破損や故障、コードの損傷による火災・感電のおそれがあります。
- 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない**
  - ・火災の原因となります。
- ぬれた手で操作しない**
  - ・感電のおそれがあります。
- USBコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない**
  - ・コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 付属のUSBコード以外のコードは使わない**
  - ・火災や感電、機器の故障の原因となります。

<b>【注意】</b>	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
-------------	------------------------------------------------------------------------


- お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する**
  - ・けがをするおそれがあります。
- 音量を上げすぎない**
  - ・周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる**
  - ・乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。**
  - 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない
    - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長期間本機を使わないときは、乾電池を取り外す。USBコードも抜く**
  - ・火災・液もれの原因となることがあります。
- 窓を締め切った自動車の中や直射日光の当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない**
  - ・キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない**
  - ・破損・故障の原因となります。
- USBコードを熱器具に近づけない**
  - ・コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない**
  - ・内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない**
  - ・落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。
- 本機の上に水などの液体の入った容器を置かない**
  - ・発火・感電の原因となったり、けがや破損のおそれがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない**
  - ・変形・変色の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない**
  - ・火災・感電の原因となることがあります。

- 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない**
  - ・電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
- USBコードの端子を抜くときは、コードを引っ張らない**
  - ・コードが傷つき、火災・感電の原因となります。必ず端子部を持って抜いてください。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない**
  - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
- 日本国以外では使用しない**
  - ・本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売されたBluetooth機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
  - ・国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

<b>【乾電池の扱い】</b>	乾電池を安全にお使いいただくために、液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。
<b>【警告】</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・火中への投入、加熱、分解をしない</li> <li>・取り外した乾電池を幼児に触らせない</li> <li>・ショートさせない</li> <li>・直射日光や火などの過度の熱にさらさない</li></ul>
<b>【注意】</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・⊕⊖の表示どおりに入れる</li> <li>・指定以外の乾電池を入れない</li> <li>・使用推奨期限内の乾電池を使用する</li> <li>・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない</li> <li>・使い切った乾電池はすぐに取り出す</li> <li>・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく</li></ul>
● <b>万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。</b>	
● <b>万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。</b>	
● <b>使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まるときにはそれに従って廃棄してください。</b>	

<b>【Bluetoothについて】</b>	Bluetoothは比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内：Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。
------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

- 【バージョンとプロファイル】** 本機はBluetooth標準規格 Ver.6.0(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。
  - ※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。
  - ※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。
- 【通信可能範囲】** 本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。
- 【機器認定について】** 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることとなります。


®
ID
210-258638
- 【セキュリティ】** 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

- 【使用周波数と注意事項】** 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。
  - ・ご使用前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切り、使用を中止してください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
  - ・そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

<b>【医療機器近くで使用の際は、特に注意してください】</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。</li> <li>●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。</li> <li>●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。</li> <li>●医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機を使わない。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では本機を使わない。</li> <li>●無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。</li> <li>●その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では十分に注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。</li> <li>●植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。</li></ul>
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>【お手入れのしかた】</b>	※必ず電源が切れた状態で行なってください。
-------------------	-----------------------

<b>【キャビネットのお手入れ】</b>	キャビネットやボタンなどが汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後、から拭きしてください。
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

- キャビネットやボタンなどが汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後、から拭きしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

<b>【ヘッド部のお手入れ】</b>	ヘッドやキャブスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着し、汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないが残る、などの症状が出ます。テープが巻き込まれる原因にもなりますので、定期的にヘッド部を清掃してください。
--------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ヘッドやキャブスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着し、汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないが残る、などの症状が出ます。テープが巻き込まれる原因にもなりますので、定期的にヘッド部を清掃してください。
- カセットドアを開け、市販のクリーニングキットまたはカセットタイプのクリーナーで録音再生ヘッドやピンチローラー、キャブスタンなどの汚れを拭き取ります。湿式のクリーニングキット使用時は、内部についた液が十分に乾いてから、カセットテープを入れてください。
- 録音再生ヘッドの消磁には市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んでください。

※詳しくはそれぞれの機器に付属する説明書をご確認ください。

※消磁する際は録音再生ヘッドのみ行なってください。消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

<b>【保証書とアフターサービスについて】</b>	保証書は、ご購入の際に同梱されています。大切に保管してください。
---------------------------	----------------------------------

<b>【保証期間】</b>	ご購入日より1年間です。
---------------	--------------

- この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

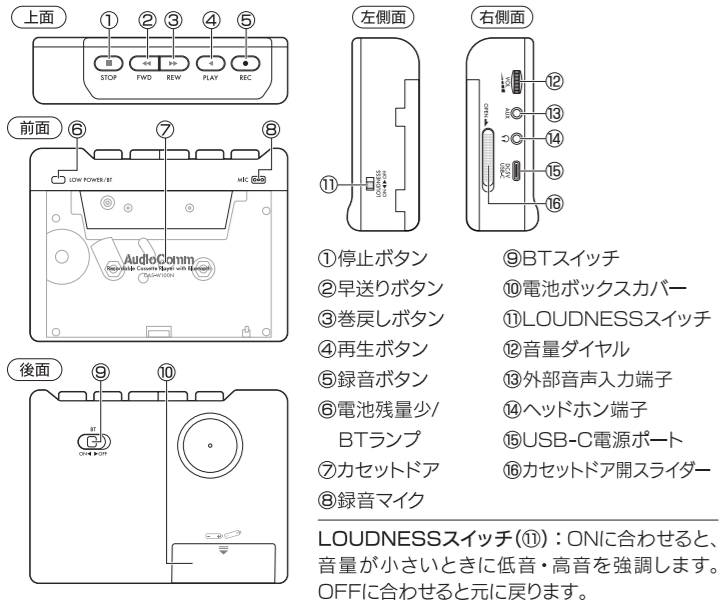
<b>【アフターサービスについて】</b>	調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

- 保証期間中**は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は**：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

<b>【主な仕様】</b>	主な仕様
<b>電源</b>	DC3V(単3形乾電池×2本：別売) <p>外部電源：DC5V 300mA(USB-C給電：コード付属)</p>
<b>カセットデッキ</b>	4トラック2チャンネルステレオ
<b>対応テープ</b>	ノーマルポジション Type I C-60以下
<b>接続端子</b>	電源：USBポート(Type-C) <p>ヘッドホン端子：φ3.5mmステレオミニジャック</p> <p>外部音声入力端子：φ3.5mmステレオミニジャック</p>
<b>Bluetooth</b>	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver.6.0 <p>プロファイル：A2DP、AVRCP</p> <p>コーデック：SBC</p> <p>変調方式/周波数帯域：GFSK/2.402～2.480GHz</p> <p>最大通信距離：見通し 約10m(Class2)</p>
<b>録音マイク(内蔵)</b>	無指向性 感度：-60dB
<b>最大音圧レベル</b>	60dB(付属イヤホン使用時)
<b>連続使用可能時間</b>	約10時間(有線使用時)、約7.5時間(ワイヤレス使用時)
<b>外形寸法</b>	幅121.5×高さ91.5×奥行32.5mm(突起物を除く)
<b>質量</b>	約187g(乾電池を除く)
<b>付属品</b>	専用USBコードType-A、C(約100cm)、ステレオイヤホン(コード長約125cm)、φ3.5mmステレオミニプラグコード(約120cm)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、連続使用可能時間は目安であり、使用状況によって異なります。 ※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。 ※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。 ※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

## 各部の名称と主な機能



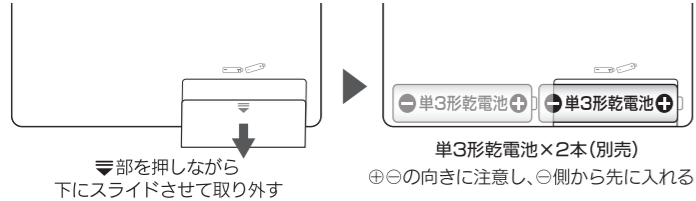
## 電池残量少/BTランプ(⑥)の動作について

乾電池の残量が少ないとき	赤(点灯)
BTスイッチON(サーチモード・ペアリング中)	青(速い点滅)
BTスイッチON(ペアリング完了・動作中)	青(点灯後 ゆっくり点滅)

## 電源について

### 乾電池で使うとき

電池ボックスカバーを取り外し、単3形乾電池×2本(別売)を図のように入れます。入れ終えたら電池ボックスカバーを元どりに確実に閉めてください。

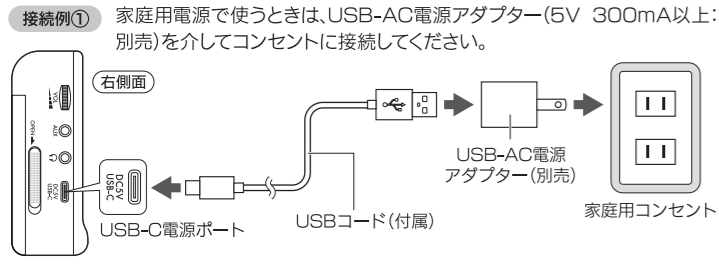


●電池残量が少なくなると、電池残量少/BTランプが赤く点灯します。そのまま使い続けると音が小さくなったり、歪んだり、テープ走行が不安定になったりしますので、早めに2本とも新しい乾電池と交換してください。

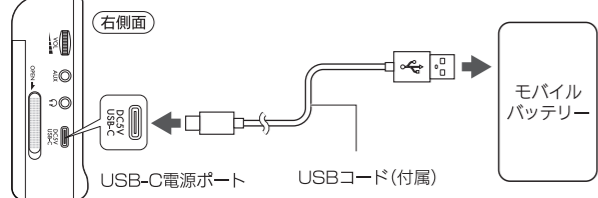
### 外部電源で使うとき

付属のUSBコードを使って、図のように接続してください。

●必ず付属のUSBコードをお使いください。また、付属のUSBコードは他の製品には使わないでください。



接続例② モバイルバッテリーで使うときは、モバイルバッテリーの電池残量が十分であることを事前に確認してください。

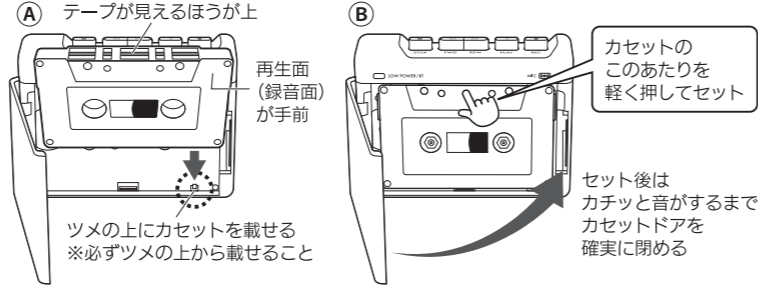


※乾電池を装着しているときでも自動で外部電源に切り換わりますが、乾電池は取り外してください。

## カセットテープの入れかた・取り出しかた

### カセットテープを入れるとき

- 右側面にあるカセットドア開スライダを矢印の方向にスライドさせた状態で保持し、カセットドアを開けます。  
・本機のカセットドアは横開きです。
- 再生したい面(録音したい面)を手前に、テープが見えるほうを上にしてカセットをセットします。  
・カセットの向きに注意しながら、ツメのカセットを載せ(A)、カセットを軽く押してセットします。セット後は、カセットドアを手で確実に閉めます(B)。



●ツメが変形すると、カセットが装着できなくなるのでご注意ください。

### カセットテープを取り出すとき

- カセットドアを開けた後、収納部の右上にあるくぼみに指先をかけ、カセットテープを手前に外した後、取り出します。  
・取り出した後は、カセットドアを手で閉めます。  
・カセットテープは必ずケースに入れて保管してください。

## カセットテープを再生する

### 有線接続：ヘッドホン端子にステレオイヤホンをつないで聴く場合

- カセットテープを本機にセットします。
- ステレオイヤホン(付属)のφ3.5mmステレオミニプラグをヘッドホン端子に接続します。  
・しっかりと差し込んでください。  
※BTスイッチはOFFにしてください。
- 再生ボタンを押し込むと再生が始まります。  
・再生開始後、早送り/巻戻しをするときや、早送り/巻戻しから再生に戻るときなど、テープが動いているときは、必ず停止ボタンでいったん動作を止めてから、次の操作をしてください。
- 音量ダイヤルで音量を調節します。  
・音量の上げすぎにご注意ください。
- 再生を終了するときは停止ボタンを押します。  
・使用後は必ずカセットテープを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

- テープ動作中は絶対にカセットドアを開けないでください。
- 再生時にテープが最後まで行くと、自動的に再生ボタンが上がり、動作が終了します。ただし、早送り・巻戻し時は自動でボタンは上がりません。故障の原因となりますので、そのまま放置せず、必ず停止ボタンを押してください。

### ワイヤレス接続：Bluetooth対応のヘッドホン/スピーカーで聴く場合

Bluetooth対応のヘッドホンやスピーカーとワイヤレスで接続し、カセットテープの音楽を聴くことができます(ここではワイヤレスヘッドホンとの接続を例に説明します)。この機能を使うには、ペアリング(本機と相手側機器を相互に登録する操作)が必要です。相手側機器が他の機器とBluetooth接続中はペアリングができませんので、他の機器との接続を解除したうえで、以下の操作をしてください。

- ヘッドホン(相手側機器)をできるだけ本機に近づけ、ヘッドホンの電源を入れてサーチモードにします。  
・サーチモード(接続可能な機器を検索している状態)は、ペアリングモードと呼ばれることもあります。相手側機器付属の取扱説明書などを参照して操作してください。

- BTスイッチをONIにしてから、カセットテープを再生します。  
・BTスイッチをONIにすると、ペアリングが始まります(電池残量少/BTランプ：青/速い点滅)。  
・ペアリングが完了後、再生ボタンを押すとヘッドホンから音が出力されます(同ランプ：青/点灯後ゆっくり点滅)。  
・音が聞こえたら、双方の距離を離してもかまいません(見通し約10m以内)。
- 音量ダイヤルで音量を調節します。  
・音量の上げすぎにご注意ください。  
・相手側機器にも音量調節機能があるときは双方でバランスをとりながら調節してください。
- 再生・停止・早送り・巻戻しなどの操作は、すべて本機で行なってください。
- 使い終わったら再生を停止し、BTスイッチをOFFにします。  
・再生を停止しただけでは本機の電源は切れません。特に乾電池にて使用時にご注意ください。  
・相手側機器の電源も切ってください。  
・使用後は必ずカセットテープを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

- 本機と一度にワイヤレス接続できるのは1つの機器のみです。
- ワイヤレス接続中は、ヘッドホン端子から音は出力されません。
- 有線接続に戻すときは、BTスイッチをOFFにしてください。
- ペアリングしたことのある機器と2回目以降に接続するときは、相手側機器を本機に近づけてサーチモードにし、本機のBTスイッチをONIにすると自動接続されます。ただし、正常に接続ができないときは、双方の電源を切り、上記の手順(ステップ①～⑤)にしたがって最初からやり直してください。

## 外部機器の音楽を本機経由でワイヤレスヘッドホンなどで聴く

Bluetooth機能やスピーカーがないポータブルCDプレーヤーなど本機をφ3.5mmステレオミニプラグコード(付属)でつなぎ、本機のBluetooth機能を使って、ワイヤレスヘッドホンやワイヤレススピーカーで聴くことができます(ここではワイヤレスヘッドホンへの接続を例に説明します)。

- 本機と接続した外部機器の音声はワイヤレス接続でのみ聴くことができます。有線接続では聴くことができません(カセットテープへの録音時を除く)。

- φ3.5mmステレオミニプラグコード(付属)で、本機の外部音声入力端子と外部機器のイヤホン端子をつなぎます。  
・双方とも電源が切れている状態でつないでください。
- ワイヤレスヘッドホンをできるだけ本機に近づけます。その後、ヘッドホンの電源を入れ、サーチモードにします。  
・ヘッドホン付属の取扱説明書を参照して操作してください。サーチモード(接続可能な機器を検索している状態)は、ペアリングモードと呼ばれることもあります。  
サーチモード
- 本機のBTスイッチをONIにします。  
・BTスイッチをONIにするとペアリングが始まり、完了すると電池残量少/BTランプが青く点灯した後、ゆっくり点滅します。
- 外部機器の電源を入れて、再生などの操作をします。  
・正しく接続されているときはワイヤレスヘッドホンから音が出力されます。  
・音量は本機、外部機器、ヘッドホンのバランスを取りながら調節してください。  
・音が出力されないときは各機器の音量設定が最小または消音になっていないか確認してください。それでも音が出ないときは、すべての機器の電源を切って接続を解除し、最初からやり直してください。  
・外部機器の音声を再生中に本機のカセット操作ボタンを押すと、外部機器の音声はストップしますのでご注意ください。
- 終了するときはすべての機器の電源を切り、コードを取り外します。  
・本機のBTスイッチも必ずOFFにしてください。

## カセットテープに録音する

事前にカセットテープを本機にセットしたうえで、以下の操作をしてください。

### 内蔵の録音マイクで周囲音を録音する

- 本機(録音マイク)を音源に向けて近づけます。その後、録音ボタンを押し込むと録音が始まります。  
・録音ボタンを押し込むと、再生ボタンも押し下がります。  
・録音レベルは一定ですので、音量ダイヤルを操作しても変化はありません。
- 停止ボタンを押すと、録音が終了します。  
・録音ボタンと再生ボタンが元に戻ります。  
・使用後は必ずカセットテープを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

●外部音声入力端子にプラグが接続されていると、周囲音の録音はできません。

### 外部機器の音楽を録音する

- 外部音声入力端子に接続した機器の再生音を録音することができます。
- 本機と外部機器を付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードでつないでください(「外部機器の音楽を本機経由でワイヤレスヘッドホンなどで聴く」のステップ①参照)。
- 外部機器側で再生操作をした後、本機の録音ボタンを押すと録音が始まります。録音を終了するときは、本機の停止ボタンを押します。

### 録音時の音声モニタリングについて

- BTボタンON：ワイヤレス接続したヘッドホンまたはイヤホンでモニターできます。  
※仕様上、音声が遅延して聞こえることがありますが、故障ではありません。

- BTボタンOFF：有線接続したヘッドホンまたはイヤホンでモニターできます。

## 故障かなと思ったら

動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池が正しく入っていますか。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> <li>●USBコード使用時：USBコードは正しく接続されていますか(端子が外れていたり、ゆるんでいませんか)。</li> </ul>
カセットドアが開まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットの向きは正しいですか。</li> <li>●カセットドア内のツメにカセットを載せるようにして、正しく入れましたか。</li> </ul>
ペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●BTスイッチがONIになっていますか。</li> <li>●相手側機器の電源は入っていますか。</li> <li>●相手側機器は本機の仕様に対応していますか。</li> <li>●相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量が最小になっていませんか。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> <li>●相手側機器と正しくペアリングしましたか。</li> <li>●ワイヤレス接続が解除されていませんか。</li> </ul>
テープ走行が不安定 テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープがたるんでいませんか。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> </ul>
テープが巻きつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。</li> <li>●テープがたるんでいませんか。</li> <li>●カセットドアがきちんと閉まっていますか。</li> </ul>
雑音が多い音が震える 音飛びがする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音再生ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか。</li> <li>●カセットテープがたるんでいませんか。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> <li>●ワイヤレス接続時：相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。</li> </ul>
外部機器の音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イヤホンと有線接続していませんか。有線接続では録音時以外、外部機器の音は出力されません。ワイヤレスのヘッドホンなどをお使いください。</li> <li>●本機、外部機器、ヘッドホンのいずれかの音量が最小になっていませんか。</li> </ul>
録音できない 録音ボタンが押せない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットテープが入っていますか。</li> <li>●カセットドアがきちんと閉まっていますか。</li> <li>●カセットテープの誤消去防止用のツメが折れていませんか。</li> </ul>
録音した音がひずむ	●録音再生ヘッドが汚れていませんか。
前の録音を完全に消去できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハイポジション(TypeII)やメタルポジションテープ(タイプIV)を使っていませんか。</li> <li>●消去ヘッドが汚れていませんか。</li> </ul>
録音した音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音マイク使用時：マイクが音源から離れていませんか。</li> <li>●音源となる機器側で音量が小さくなっていませんか。</li> </ul>